

広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

1 五類定点疾患週報情報

平成19年第33週(8月13日～8月19日)

No	疾患名	週間発生数	定点当り	過去5年平均 ¹	発生記号	No	疾患名	週間発生数	定点当り	過去5年平均 ¹	発生記号
1	インフルエンザ ²	0	0.00	0.00		12	ヘルパンギーナ	48	0.67	1.00	↓
2	RSウイルス感染症	11	0.15	-	↑	13	麻疹 ³	3	0.04	0.00	
3	咽頭結膜熱	43	0.60	0.58	↘	14	流行性耳下腺炎	3	0.04	0.80	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	0.61	0.38	↗	15	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.03	
5	感染性胃腸炎	198	2.75	2.61	↘	16	流行性角結膜炎	18	0.95	1.16	↗
6	水痘	38	0.53	0.55	→	17	細菌性髄膜炎	1	0.05	0.01	
7	手足口病	10	0.14	1.13		18	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.19	
8	伝染性紅斑	5	0.07	0.13		19	マイコプラズマ肺炎	5	0.24	0.20	
9	突発性発しん	29	0.40	0.65	↘	20	クラミジア肺炎 ⁴	0	0.00	0.00	
10	百日咳	0	0.00	0.01		21	成人麻疹	0	0.00	0.00	
11	風しん	0	0.00	0.00		報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹
疾患No.	1	1～14	15, 16	17～21
定点数	43	72	19	21

- 過去5年間の同時期平均(定点当り)
- 高病原性鳥インフルエンザを除く。
- 成人麻疹を除く。
- オウム病を除く。

急増減疾患!! (前週比2倍以上増減)

(注) お盆休診の医療機関があり定点数に変動があるため、定点当たり患者数で比較しています。

急増疾患 RSウイルス感染症(1人(0.02) 11人(0.15))
急減疾患 ヘルパンギーナ(106人(1.66) 48人(0.67))

発生記号(前週と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名
一類	0	発生なし
二類	12	結核
三類	0	発生なし
四類	1	レジオネラ症
五類全数	2	梅毒(1), 後天性免疫不全症候群(1)